

磐城時報

編輯 磐城石城郡平町屋敷十四
印刷 磐城石城郡平町屋敷十四
電話 磐城石城郡平町屋敷十四
發行 磐城石城郡平町屋敷十四
廣告料 一月十元 三月三十元
日刊 一月一元 三月三元
休刊 日曜 祭日 休刊

豫算總額は増したが 町民負擔は輕減

賢明なる修正であること 町民は町議に感謝

平町昭和四年度豫算は二十六日小學校十六教室の増築並に南港
二十七日日委員会で審議し二審附金區劃整理その他で二十八
日十七日深夜十二時漸く審議を日町會を開き可決した。
了し二十八日午後一時から本會
議を開いて提案したが、修正に
ついて委員長加納五郎氏が詳細
な説明をなした。修正の内容は
小學校備品費その他の節約を
はかり、二十九圓を減じ臨時
時部に於て字五丁目から南町
裏新市街地貫通の町道開鑿費
九千五百八十圓を増した外二
三修正を行ひ結局原案より豫
算總額は四千四百二十二圓を
増したが、豫備費の減額をな
し且つ共同開作費は受益關係
者の寄附を財源に當てたため
町税戸數割は一戸當り二十一
圓十五錢の原案を二十圓五十
錢とし町民の負擔輕減をはか
つた。

石城郡の 各町村豫算

石城郡内各町村は二三町村を除
く外二十八日までに豫算を決定
したがこれ等決定豫算を見ると
平町以外は全部前年度より減じ
湯本町などは總豫算十萬圓内外
町團司令部付陸軍少將原田敬一
に對し三割近くも減額してゐる
氏である。

平町の地下探掘は 遂に不認可に決定

公安を害するものとして

好間村古河炭礦株式會社が昨年
平町市街地全部を含む區域の石
炭試掘願を仙臺礦山監督局に提
出したのに對し平町では市街地
の下は掘られては一大事である
として反對運動を試み、仙臺礦
山監督局の裁斷如何は各方面か
ら注目されてゐたが、當局で調
査の結果この出願は公安を害す
るものとして鑛業法第三十二條
によつて不許可と決定したが、
一千七百九十五圓で新規事業は
之について伏見町長は語る。

小名濱町豫算

小名濱町に於ける本年度豫算は八萬
一千七百九十五圓で新規事業は
之について伏見町長は語る。

會民衆黨に入黨した一派では來
る十七日日本部から鈴木文治氏を
招き分裂の批判演説會を開くと
會津支廳長は
石城郡出身
新任南會津支廳長齋藤清吾氏は
警備隊出身で明治廿一年本縣巡
査を拜命、四十三年警備隊となつて
四倉署長、飯坂署長となつて
休職を命ぜられその後警備隊に
警部補として入りその後警視廳に
なつて高知警察署長に榮進更に
同縣警備支廳長に轉じ今日に至
つた人である。

湯本町の豫算

湯本町四年度豫算は二十八日
の本會議において原案通り可決
したが金額は三年度豫算より三
萬圓減の九萬圓である。

軍事講話會

植田町軍
事講話會は八日午前九時から同
町小學校に開くが講演者は第二
團司令部付陸軍少將原田敬一
氏である。

鹿島村への同情金 三百余圓に達す

けふ井上組頭等が寄贈

平消防組では既報の如く鹿島村
大火災の罹災民に非常同情し設
置申請中のところこの程許可
發起となつて平町内から義捐金
を募集集中であつたが、三百三
十圓に達したので今三月一日井
上組頭は柏原幸次郎氏と共に鹿
島村役場を訪れ村長の手を経て
罹災民に寄贈した。各町の寄附
左の如し。

- ▲二十圓平消防組▲二十圓四
丁目▲拾圓六七丁目▲十圓鎌
田町▲拾圓新川町▲月見町
▲五圓大工町▲拾圓鍛冶町▲
二十圓三丁目▲十圓材木町▲
十五圓南町▲二十圓一丁目▲
十二圓紺屋町▲十圓長橋町▲
十二圓研町▲五圓久保町▲三
圓八幡小路▲五圓城山▲五圓
胡麻澤▲二十圓田町▲十圓搦
槌小路▲二十圓二丁目▲五圓
仲間町▲五圓柳町▲十圓白銀
町▲六十圓五丁目區

草野に公衆電話

石

豐間村長志賀兼吉氏は遠藤藤之
業として校庭に専用プールを設
け、遠藤倉之助、遠藤伊平治各
氏と共に一日午前九時三十分
平驛發列車で漁港問題陳情のた
め出陣した。

豐間村有志 漁港問題陳情

豊間村長志賀兼吉氏は遠藤藤之
業として校庭に専用プールを設
け、遠藤倉之助、遠藤伊平治各
氏と共に一日午前九時三十分
平驛發列車で漁港問題陳情のた
め出陣した。

校庭にプール

豊間村長志賀兼吉氏は遠藤藤之
業として校庭に専用プールを設
け、遠藤倉之助、遠藤伊平治各
氏と共に一日午前九時三十分
平驛發列車で漁港問題陳情のた
め出陣した。

繼母に 家を追はる

哀れな少年
十二歳の少年が平驛前を徘徊
してゐるのを鈴木部長が発見
聞きだしたところ少年は相馬
郡原町本陣町大澤金吉長男金吾
（二）とて母親に早く死にわか
れ父親は九歳になる男の子のあ
れ父親は九歳になる男の子のあ
れ父親は九歳になる男の子のあ

助川の泥棒 平で捕はる

双葉郡上岡村當時任所不定無職
石田豊吉（三八）は去る廿六日茨
城縣助川町氏名不詳の家に忍び
込み衣類數点を竊取逃走し平町
に來り入質せんと徘徊中廿八日
二平署員に逮捕されたが余罪ある
十八日朝總母は朝食前金六十錢
見込みで取調中。

嵐とそのひと時

世界中で一番古い植物ではあ
るまいかといふやうな一種
不思議な考へを持つた表象を
感じてくる。幹の具合枝の具
合全体の輪廓をそれがすべてこ
の不思議を表してゐる謎のや
うに思へるのである。そして
これはまた夕映の空に響いて
ゐる時分一層この感じは深め
られるのである。空一体に落
日の柔かい光が流れてあたり
が紫色にしつとりと感じられ
る時つと立つてゐるこの
樹を見るとき、解き難い不思議
が眼の前に据えつけられて
るやうに思はれる。そして直
立してゐるこの樹の姿が如何

を與へて何所へでも出て行けど
家を追出された、金吾少年は平
町に行つたら何とかなるだらう
六十錢では原町驛から乗れない
ので隣驛の磐城太田まで歩いて
太田驛から上り列車に乗り平に
來たが右も左も知らない土地で
殊に朝から一食もしないこと、
費用は生徒並びに卒業生よ
りの寄附によつて由。

——繼母に
家を追はる——
哀れな少年
十二歳の少年が平驛前を徘徊
してゐるのを鈴木部長が発見
聞きだしたところ少年は相馬
郡原町本陣町大澤金吉長男金吾
（二）とて母親に早く死にわか
れ父親は九歳になる男の子のあ
れ父親は九歳になる男の子のあ
れ父親は九歳になる男の子のあ

——助川の泥棒
平で捕はる——
双葉郡上岡村當時任所不定無職
石田豊吉（三八）は去る廿六日茨
城縣助川町氏名不詳の家に忍び
込み衣類數点を竊取逃走し平町
に來り入質せんと徘徊中廿八日
二平署員に逮捕されたが余罪ある
十八日朝總母は朝食前金六十錢
見込みで取調中。

——嵐とそのひと時——
世界中で一番古い植物ではあ
るまいかといふやうな一種
不思議な考へを持つた表象を
感じてくる。幹の具合枝の具
合全体の輪廓をそれがすべてこ
の不思議を表してゐる謎のや
うに思へるのである。そして
これはまた夕映の空に響いて
ゐる時分一層この感じは深め
られるのである。空一体に落
日の柔かい光が流れてあたり
が紫色にしつとりと感じられ
る時つと立つてゐるこの
樹を見るとき、解き難い不思議
が眼の前に据えつけられて
るやうに思はれる。そして直
立してゐるこの樹の姿が如何

惡魔に喰れる

四倉町長問題 和歌蘭生

近年四倉町には問題が頻発する、その問題が型に入つたやうに紛糾して余興的波瀾が捲起される、波瀾がらんで済むならまだ我慢も出来ることだらうが、余興のその亦た景物として醜態まで曝露し兼ねない脱線振りを發揮するのであるから町民はやりきれたものでない。

だから「現實曝露の悲哀だ」なんて、拾年も前に「賢屋」へ打ち込み、とうとう流して終つた等の言葉を密に盗み出してきて彌次つたりする生意氣千萬な奴が現れてくる。誰れが彌次ののだつて、それかあ言ふ筈だよ、近頃はえん本の大流行だらう、過去の傑作とやらを誇大な廣告と大量生産でどしどし投資してゐる資本主義全盛時代であるから、賈流の品物だつて飛出して来るのに何等不思議はないではないか。

處でわが四倉にはいま町長が無くて困つてゐる、之れが問題になつてゐるんだ。

亦た余興と景物と云ふ鳴物を添へるのかつて聞くのかね、だが昨今のやうに不景氣のどん底にあつてはさう度々景物だつて出しきれないだらう。

併し人間の心理なんて奴は妙なものだから、景氣挽回策には余興と景物に限るなんて逆説的經濟政策から彼等が勇敢に踊り出さぬとも限るまいではないか。

町に町長が無いことは、人間にしてみればが、首が欠けて居るも同然だ、首が欠けてあ人間の満足な機能活動は不可能である、が、首あつての人間だらうかあないか、何故町長が無いのか、杉原新伍が満期退職して其の後釜がみつからない。町長になりたいたい野心家は其の邊に轉がつてゐるさうだが、なりたいたい人だけでは町の問題は解決し得ない。では町長になりたいたいと云ふ人は誰々だらう。(つゞ)

酒屋の雇人が酒を盗んで賣る

三年ぶりで發覺

山形縣西村山郡溝邊村大字溝邊與平方に雇はれ中昨年八月迄の生れ當時江名町大字江名字北町間に數十回に亘り一石五斗位價佐々木正一郎(二)は去る十五格百五十圓を窃取して賣却して年一月から同町新町酒屋吉原のた事發覺平署に捕はれた。

滋養、強壯劑として愈々好評
偉大なる薬酒 **栗守酒**
朝の一盃は精力の根源、晩の一盃は休眼の助力
栗守酒特約店 **大平屋薬店**
代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目(電六四三二)

貸家あり
住宅向き
商店向き
委細面談
平町新川町
中野勇吉

腸胃
内科 専門
十二指 腸胃病
婦人病 淋病
皮膚病 専門
院醫科腸胃村松
(七〇一話電町南平)

共栄ト存共△
融金ノ易簡△
蓄貯ノ味趣△
堅ト意誠△
合商
リテ所積取ノ所ル至△
イサ下込申モデ時何△
スマリ禁ヲ會會ズエ絶△

平町紺屋町
吉田眼科
電話六八番

相馬郷友會 會員に告ぐ
馬城會平支部 聯合懇親會を左の如く開きます。奮つて御出席下さい。
一、開期 三月三日午後一時
一、場所 平町田町一の井
一、會費 金二圓(當日御持參の事)
一、申込所 平町播磨小路(電話五三七番)
發起人 一方 同

内臓外科 専門 藤本順
骨關節外科 専門 藤本順
整形外科 専門 藤本順
産婦人科 院長 木村寅次郎
外 科 木村寅次郎
産婦人科 平町新川町(電話一六四)

外科 専門 X光線科
上田外科醫院
電話一三九番

盛美酒 眺月
瓶詰
平町四丁目平驛通り
永山酒造店 小賣部
電話二〇七番

磐城共濟病院組織
内 科 小兒科 (院長毎日診察)
院長 醫學博士 難波
副院長 醫學士 五十嵐雄二
內科部長 醫學士 中西林藏
外科部長 醫學士 鈴木家憲
外科部長 醫學士 鈴木退輔
外科部長 醫學士 鈴木退輔
外科部長 醫學士 鈴木退輔
産婦人科部長 醫學士 五十嵐雄二
産婦人科部長 醫學士 五十嵐雄二
産婦人科部長 醫學士 五十嵐雄二
X光線科 醫學博士 難波
主任 醫學博士 難波
本院醫事法制顧問 法學士 岡澤 忠
本院主事 賀澤 忠
本院典記 念事業トシテ
一、衛生試驗所 (共濟病院内) 十一月一日ヨリ開始
一、病氣相談所 (共濟病院内) 十二月一日ヨリ開始
一、救 療 所 (共濟病院内) 十二月一日ヨリ開始
電話六四一 磐城 共濟病院
本院自炊ノ便アリ 看護婦見習募集

本縣酒界の最高清酒
於全國清酒品評會優等酒入選
於福島縣下聯合品評會最高優等酒入選
本縣 **會津銘酒 花春**
一升代金壹圓五十錢 特價發賣
發賣 白萩支店 電話四四三番
元賣 釘屋酒店 電話一五五番
發賣 綠川酒店 電話八三三番
發賣 磐崎屋酒店 電話六六三番

座敷女中頼みまし
希望の方は至急面談
平町田町(電話四三番)
牛島御料理 **石川亭**